

オノマトペの 魅力と不思議

聴講無料
要事前申し込み

のろろ

13:00 開会挨拶 影山太郎(国立国語研究所長)
趣旨説明 窪蘭晴夫(国立国語研究所副所長)

13:15 <司会 窪蘭晴夫>
報告1 オノマトペはことばの発達に役立つか?
今井むつみ(慶應義塾大学)

報告2 外国語にもオノマトペはあるか?
秋田喜美(名古屋大学)

報告3 外国人は日本語のオノマトペを使えるか?
岩崎典子(ロンドン大学)

14:45 <休憩>

15:00 報告4 オノマトペの意味は変化するか?
小野正弘(明治大学)

報告5 「もふもふ」はどうやって生まれたか?
坂本真樹(電気通信大学)

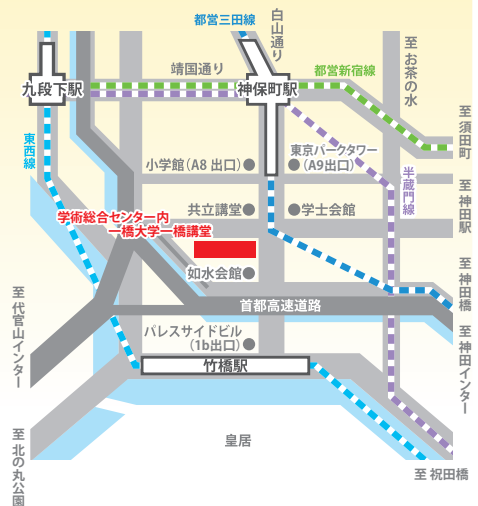
16:00 <パネルディスカッション>
コーディネーター 窪蘭
パネリスト 今井、秋田、岩崎、小野、坂本

16:50 閉会挨拶 窪蘭晴夫



キラキラ

ぽかぽか



主催…… 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立国語研究所
National Institute for Japanese Language and Linguistics

共催…… 言語系学会連合

一橋講堂へのアクセス……
東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線
「神保町」駅(A8出口)徒歩3分
東京メトロ東西線「竹橋」1b出口徒歩5~8分

オノマトペの 魅力と不思議



日本語は「ゲラゲラ笑う」「メソメソ泣く」のように、オノマトペ（擬音語、擬態語）をととても好む言語だと言われています。「ガラガラ」（赤ちゃんのおもちゃ）を筆頭に、「ガチャポン」や「ガリガリ君」（商品名）、「ピカチュウ」や「ヒコニヤン」（キャラクター名）、「ペンペン草」「ミンミンゼミ」「ガラガラヘビ」（動植物名）等々、オノマトペに由来している語がたくさんあります。子供の童謡にも「ワンワン」や「ニヤンニヤン」などのオノマトペが不可欠です。

その一方で、謎が多いのもオノマトペの特徴です。そもそも日本語にオノマトペが多いのはなぜでしょう。その意味や役割は昔から変わらなかったのでしょうか。またオノマトペは私たちが言葉を身につけるのにどのような役割を果たしているのでしょうか。大人のコミュニケーションではどのような役割を果たしているのでしょうか。日本語以外の言語にもオノマトペはあるのでしょうか。また、外国人が日本語を学ぶ際に日本語のオノマトペはどのような障壁となるのでしょうか。

このフォーラムでは、このような疑問をもとにオノマトペをさまざまな観点から考察し、日本語を豊かにしていると言われるオノマトペの魅力と謎に迫ります。

●お申込み方法……

入場無料、事前申込制。定員400名（先着順。定員になり次第、受付を締め切ります）。

国立国語研究所ホームページ (<http://www.ninjal.ac.jp/event/public/forum/>) からお申し込みください。なお、Eメールもしくはファクシミリでも申込みいただけます。

※「第10回フォーラム参加希望」、お名前（ふりがな）、ご住所、電話番号を明記してください。

E-mail: forum@ninjal.ac.jp

Fax: 042-540-4334

☆手話通訳をご希望の方はお申込み時にお知らせください。



●問い合わせ先……

国立国語研究所 研究推進課

〒190-8561 東京都立川市緑町10-2

042-540-4300 (代) (平日：9:00～17:30)

国立国語研究所第10回NINJALフォーラム **オノマトペの魅力と不思議**

FAX申込書 (042-540-4334)

切り取らずにこのままFAXにてお送りください

ふりがな

氏名

連絡先（自宅 ・ 勤務先）※連絡先が勤務先の場合、必ず会社名まで明記ください。

〒

電話番号

FAX 番号

E-mail アドレス

@

次回以降のシンポジウム案内を

希望する ・ 希望しない

手話通訳(希望者のみ○をつけてください)

希望する